

### 治療方法 ~ 瘀血(おけつ)の除去

「瘀血」とは、体内に滞っている古くなった血のことで、お血がたまると血行不良の状態となり生活習慣病を始め様々な不快症状を引き起こします。「瘀血」は極度のストレス、打撲、手術、冷え、出産、運動不足等が原因となり体内に蓄積されます。

### 瘀血が引き起こす主な症状

お血がたまっている部位	症状
頭部	偏頭痛、めまい、眼球痛、ドライアイ、アレルギー性鼻炎、蓄膿
首	項強症（項強とは頸部から背部への筋脈肌肉が硬直した状態）
腕	五十肩、テニス肘、手しびれ、関節炎
背中と胸部	痰づまり、呼吸器疾患
腰部	腰痛、椎間板ヘルニア
脚部	関節炎、痛風、下肢静脈瘤、足しびれ
皮膚	肌のくすみ、シミ、しわ、腫瘍、できもの、アトピー性皮膚炎
その他	のぼせ、生理不順、生理痛、手足の冷え、不眠、たちくらみ
	高脂血症、動脈硬化、心筋梗塞
	胃痛、腹痛、胃炎、便秘、下痢
	動機、不眠症、記憶力低下、代謝低下

### 谷雲式 針治療とは

韓医学者・谷雲式の鄭太用（チョン・テヨン）先生が、17世紀朝鮮時代、最高の医学書である「東医宝鑑」に基づき創案し、愚痴式の鄭奉植（チョン・ボンシク）先生が理論的に体系化させた針治療と韓薬（漢方薬）の処方とを一体化させた治療方法です。

### 韓薬（漢方薬）との併用で効果アップ

針治療で体内のお血を取り除き、韓薬（漢方薬）で血液循環を良くし、さらに免疫力を上げながら治療を促す方法です。

# 針治療について

針治療は滞った「瘀血」を排出するため即効性がありますが、あくまでも一時的なものであり、根本的な治療には継続的な韓薬（漢方薬）の投与との併用がより効果的です。

## 針治療後の注意点

- 最低 3～4 時間は絶対水に触らないこと。
- 水仕事、掃除、皿洗いなど汚染された水に触る場合は必ず手袋か長靴を着用すること。
- なるべく当日はお風呂に入らないでください。

## 血流が停滞している場合に、このような症状が現れる場合があります

- ① 瘀血が出ない
- ② 治療部位が腫れる。痣ができる
- ③ 体調不良（体がだるい、眠い、気分が悪い）がおこる
- ④ 治療部位とは別の部位に痛みを感じる

血流が停滞し古い瘀血が排出されなかったためと考えられます。瘀血を溶かして血流循環を良くする韓薬（漢方薬）との併用をおすすめします。※ もし、症状が長引く場合は医師にご相談下さい。

## お客様の声

- アレルギー性鼻炎が一瞬で治った。治療後鼻通りが一気によくなった
- 体がぼかぼかする
- 膝が痛くて足が上がらなかったのが、上がるようになった
- 尿がよく出る
- 体のだるさを感じたが、当日よく眠れた
- 顔色が明るくなった
- 肌に張りがでた

